

消防士を志すあなたへのメッセージ



私が坂出市消防本部に勤務して、今では50人以上の後輩と共に勤務しているなか、若手職員に志望動機を聞くと、多くは「救助現場で人を助けたい」や「一人でも多くの人の命を救いたい」など理想的な答えが返ってきます。ただ、私自身が、そこまで崇高な信念を持っていたかと自答したら必ずしもそうではなかったかもしれません。ただ、多くの災害現場を先輩方とともに対応していく中で考え方に変化が生じ、知識や技術を習得して、一人でも多くの傷病者を何とかして救いたいと考えようになりました。その考えのもと、救急救命士の資格を取得し、救急現場等で活動した後に、庶務課、情報指令課で勤務し、現在は消防署長補佐として職務に従事しています。

ここで伝えたかったメッセージは、働き始めた後に自らがどう在りたいかを考え、実践していく事が一番大切だということです。消防には火災、救急、救助に対処する消防署や、火災を未然に防ぐ予防課、消防の事務等を担う庶務課、119番通報等に対応する情報指令課と様々な業務があります。今は、自分自身にどんな適性があるか分からないと思いますが、私たちと勤務して様々な現場を経験していく中で、自分は何をしたいのか、どんな適性があるかを判断してスキルアップを図り、市民の安全・安心につながるよう働いてみませんか？皆さんと一緒に勤務できる日を心待ちにしています。

消防署

救急係

「仕事内容」

救急隊員の1日は、救急車の中にある資器材点検から始まります。24時間いつ救急要請があっても出場できるように常に万全の状態です。毎日さまざまな救急事案に出場しますが、どれをとっても同じ状況の現場はありません。市民の皆さんが救急要請するのは一生に1度あるかないかひっ迫した時です。その現場にプロ意識をもって100%の活動ができるように、日々訓練を重ねています。

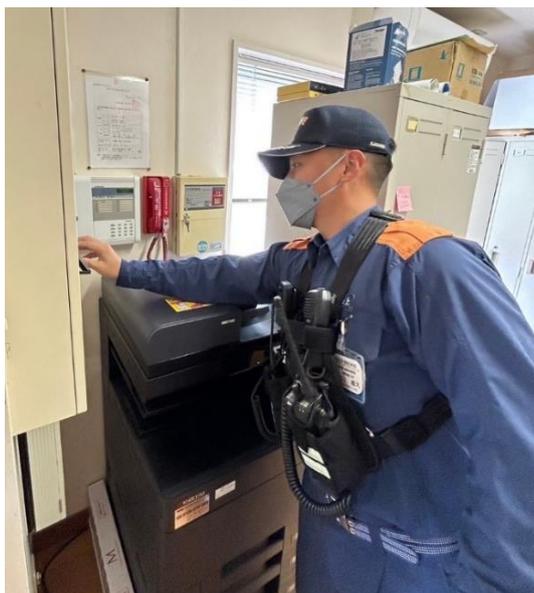


「救急車内で隊員はどんなことをしているの？」



救急車の中では基本的に脈拍、呼吸、血圧、体温などを測定し、どれか1つでも異常があればそれに応じた観察や処置を行い、できる限り迅速に適切な医療機関へ搬送するよう心掛けています。また、呼吸や脈拍が止まっている救急事案での活動内容は、写真でもあるように点滴や薬剤を投与し、1人でも多くの方々が社会復帰できるよう現場活動を行っています。

査察指導係



に行き遊んだり、家事や子育ても頑張っています。育メンとして、毎日奮闘中です。趣味は、歴史や旅行が大好きなので、旅行に行った際にお城巡りもしています。

【仕事内容】

査察指導係の仕事は、火災予防を推進し、火災発生の際の被害を最小限にするために建物の立ち入り検査を実施し、「防火管理並びに消火設備の適正な維持管理」を指導しています。また、避難訓練や水消火器を使用した消火訓練の指導も随時行い、建物管理者の防火意識の向上を図っています。

【休日の過ごし方】

休日は、日頃の疲れを癒すために家で漫画を読んだり、ゆっくり寝たいのですが、家で幼い子供が2人待っているの



救助係

【仕事内容】

いつ発生するか分からない災害に備えて、資機材の点検や車両の整備、火災や大地震、豪雨災害などを想定した訓練も行っています。現場では、小さな失敗で、要救助者の命だけでなく、自分の命も奪われてしまう危険な仕事ですが、一人で活動することは絶対にありません。ともに活動する仲間がいます。私たち消防士が「最後の砦」となって、救える命を救っていきたいという思いで署員一丸となって頑張っています。

【消防士として心掛けていること】

坂出市は私が生まれ育った場所。地域の役に立てる仕事



に就きたいという思いと、災害

現場で活躍する救助隊に憧れて消防士になりました。現在は指導する立場となり「教育」する場面が増えましたが、ただ教えるのではなく、自分自身も学ぶことを忘れず、共に育つ「共育」の姿勢であることを心掛けており、今度は私が憧れの消防士になれるよう努力しています。



消防係



【仕事内容】

私の所属する消防係は火災時に出勤し、消火活動を行います。しかし、それだけではなく勤務体制によっては救急隊や救助隊として出勤することがあります。そのため、火災を想定した訓練はもちろん、救急現場や救助現場でより良い活動ができるよう、救急や救助の訓練も行っています。また、出勤や訓練だけではなく、事務仕事やホース等の資機材の修理や点検を行っており、学ぶことが多く日々勉強の毎日です。

【休日の過ごし方】

私は、キャンプと料理が趣味です。キャンプでは災害時を想定し電気を使わないように過ごしています。また、料理をするのも好きで、消防署では週末にみんなで夕食を作りますが、料理長を任されています。



消防署 東部分遣所

【仕事内容】

私は白峰中学校西隣にある東部分遣所で消防係の隊員として、消火・救助・救急等の災害活動に従事しています。多種多様な災害が発生する中で、普段から様々な訓練を実施し、災害対応能力の向上に取り組んでいます。また、近年建物構造が変化していく中、火災の対応方法も変化しつつあります。日々知識を習得し訓練に励み、現場で生かせるようにすることが市民の安全につながると考え努力しています。



【仕事のやりがい】

人の役に立っていると実感した時にやりがいを感じます。救急や救助に出場し、搬送した方が消防署にお礼を言いに来られることがあります。元気な声で「ありがとう」「助かりました」という言葉を聞くことが嬉しいですし、もっと仕事を頑張ろうと思える瞬間もあります。



消防署 番の州分署



【消防士として心掛けていること】

思いもよらないことで起こってしまう事がある火災ですが、裸火を扱う時は燃えやすいものを近くに置かないなど、普段の生活から火事を起こさないように気を付けています。また、公共の施設等に行った時には、避難経路や消防用設備の設置場所等を確認するようにしています。

【仕事内容】

管轄している地域の災害対応や災害が起きたときに使用する消火栓の点検等をしています。また、番の州分署はポンプ車のほかに、大型の車両が3台あり、その車をいざという時に動かせるように訓練をしています。



消防署 南部分署



【仕事のやりがい】

私の仕事のやりがいを感じていることは、危険な現場もありますが、人の命を守りたいという強い気持ちがあり、業務中は緊張感を保ちつつ災害が起きた際には、自分たちが持っている知識・技術を活用し、市民の安心・安全に直結している仕事であるという強い使命感と責任感を持ちながら仕事をしているという事です。市民の方々の大切なものを守れるような仕事ができているという実感があります。

【業務内容】

私は南部分署で 24 時間勤務しています。主な業務内容ですが、火災出場だけではなく救急出動などの現場活動です。どのような災害でも迅速かつ安全に活動できるよう、個人装備の点検および車両の点検等を行っています。また日々訓練や体力の錬成を行い、知識・技術のスキルアップを図っています。



情報指令課



【仕事内容】

119番通報を受付し、状況に応じた緊急車両を出場させ、的確な情報を伝達する部署になります。119番通報の受付は、24時間体制で対応しており、通報の多い日で1日20~30件の通報があります。時には、切迫している状況下の通報もあり、冷静かつ短時間で助けを求める市民の状況を把握する力が必要です。119番通報は、市民の方にとって一生に一回の通報だと考えて、丁寧かつ迅速に対応するよう日々心がけています。

【休日の過ごし方（趣味）】

休日は、趣味であるバイクでツーリングに出かけています。景観の良いおすすめスポットは、坂出市王越町の大崎の鼻です。瀬戸内海と島々が一望できる場所で、バイクで海沿いを走ると自然を体感でき、気分転換におすすめです。また、情報指令課員として、119番通報者のもとにより早く消防車や救急車を出動させられるように、市内をバイクで巡り、地理把握にも繋がっています。



庶務課



【業務内容】

皆さんは消防団をご存知でしょうか？
普段は様々な仕事に就いている人たちが、災害が発生すれば消防団員として、駆付けて消防職員の人たちと一緒に消防活動にあたる非常勤の消防機関の方々です。
消防団系では、そんな団員の皆さんの年間訓練計画の企画、車両や備品の維持管理、福利厚生等を担当しています。
災害発生時は指揮隊の隊員として出動し、消防職員と消防団員双方のパイプ役として活動します。



【仕事のやりがい】

坂出市消防団では、現在約520名の消防団員の方々が活躍されています。意外と多いと感じたのではないのでしょうか。普段は全く繋がりのない人たちが、災害が発生すれば消防団員として一致団結して活動する。そんな自分たちの地域を守るという思いから集まった人たちを支えること仕事に責任と誇りを感じています。



予防課

【仕事内容】

私は令和5年4月から予防課で勤務しています。予防課の仕事は、消防用設備の設置指導、危険物施設の適正な維持管理、火災原因調査など火災予防の分野において多岐にわたります。他にも、春季・秋季火災予防運動週間にリーフレットの配布などを行い、火災予防の啓発に努めています。



【仕事のやりがい】

予防課の仕事は決して目立つものではありませんが、火災を起こさない・災害による被害を最小限に抑えるためには必要不可欠な仕事だと思っています。身に付けるべき知識が多く大変ではありますが、適切な助言・指導を行うために勉強は欠かせません。分野に関係なく、日々の業務を通じて、少しでも自分が成長できるように取り組んでいます。

